

豊田市立畝部小学校で防災講座を行いました

令和8年9月4日（金）、豊田市立畝部小学校で5年生39名に防災講座を行いました。講座は令和6年から実施しており今回で3年目です。学校の近くには矢作川が流れています。

講座では、豊田市でも被害のあった伊勢湾台風、昭和47年7月豪雨災害、東海（恵南）豪雨など過去の水害やバックウォーター現象、線状降水帯、新たな防災気象情報などについて学習しました。

浸水疑似体験映像や平成26年長野県南木曽町土石流の映像を上映したところ、多くの児童から「怖い」との声が上がり、また、伊勢湾台風A1語り部との対話体験では、「避難する時にあると良い物は？」「避難する時に一番大変だったことは？」「最大瞬間風速は？」など代表児童による質問を通して、伊勢湾台風への理解を深めました。

最後に、児童からは家族に伝えたいことに対して、「ハザードマップを確認し、防災バッグ・グッズを用意して、災害に備えたい」「伊勢湾台風など過去の水害」「避難する時に大切にしたいこと」などの意見がありました。

5年生は総合的な学習の時間で「自然災害」に関する情報を集め、まとめる活動をされているそうです。

今回の講座が、児童たちの防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

